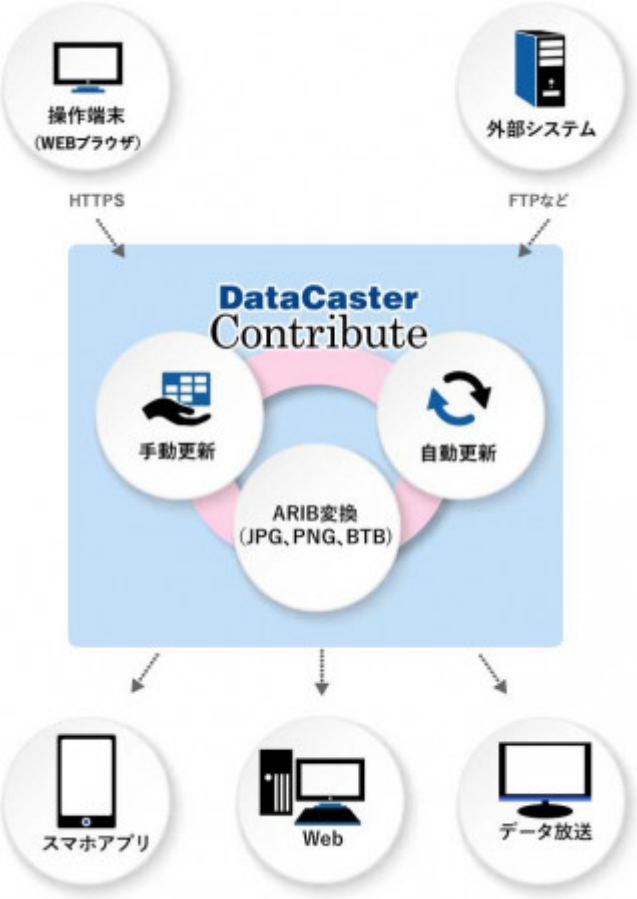
メディアキャスト、TBSへデータ放送用CMS『新Jupiter』を納入



JNN系列のデータ放送を支える 今後のクロスメディア展開を見据えた情報集配信システム

株式会社メディアキャスト（本社：東京都品川区、代表取締役
杉本孝浩）は、株式会社TBSテレビ（以下
TBS）へ、データ放送用大規模CMS（コンテンツ管理システム）を納入し、JNN系列のデータ放送用情報集配信システム『新Jupiter（ジュピター）』として本格稼働開始したことを発表します。

当システムは、データ放送システムでは国内で圧倒的な導入実績があるメディアキャストの「DataCaster Contribute（データキャスター
コントリビュート)」をベースに、TBSの運用仕様に合わせて機能拡充したもので、TBS社内外から各種情報（気象、災害、ニュース、番組情報、プロ野球情報など）を自動収集し、データ放送規格であるARIB規格をはじめとする各種フォーマットへ自動変換し、全国のJNN系列各局へデータ放送用の情報を配信します。

今回の納入は、地上デジタルテレビ放送へ移行した2003年から稼働していた旧システムをリプレースしたもので、運用効率の向上だけでなく、ハイブリッドキャストをはじめとするネット連携サービスやクロスメディア展開など、将来の新サービス/新事業展開を見据えた大幅な機能拡充と拡張性が施されています。

◆ クロスメディア展開に重視されるCMS

メディアキャストでは、各放送局がデータ放送、スマホアプリ、Web、ハイブリッドキャストなどを対象とするクロスメディア展開に積極的に取り組む中、データ放送用CMSの開発案件が非常に増加しています。
1つの情報ソースを各デバイス用に配信する際、ARIB（電波産業会）フォーマットへの変換や、データ放送特有な運用面での各種制限への対応など、データ放送専用機能が最も難易度が高いとされています。メディアキャストは、データ放送専門会社としての多くの経験と実績を活かして、高度な機能やノウハウを、運用側の立場に立ち、使いやすい形で開発製品に搭載しています。また、いち早くハイブリッドキャストへの取り組みを開始し、HTML5オーサリングツールなどの開発を通じてノウハウを蓄積してきました。
メディアキャストは、今後も、次世代放送サービスを支える新しいツールやシステムの開発に注力していきます。

◆「DataCaster Contribute」について

https://www.mcast.co.jp/products/datacaster-contribute/
「DataCaster Contribute」は、国内稼働中のデータ放送送出システムとしては最多の稼働実績を誇る統合型データ放送ソリューション「DataCaster M3(データキャスターエムスリー)」の運用装置としても搭載されており、データ放送用CMSとしても国内100台以上の圧倒的な稼働実績があります。

■ 株式会社メディアキャストについて

https://www.mcast.co.jp/
株式会社メディアキャストは、デジタルデータ放送やハイブリッドキャスト分野に特化したソフトウェア開発・販売、受託開発を行う業界唯一のデータ放送専門会社です。BML（Broadcast Markup Language）技術を始め、コンテンツ制作技術や運用システムなど、デジタルデータ放送に求められる専門分野で多くの経験と実績を有し、メディアキャストのデータ放送製品群は、NHK（日本放送協会）、民放各局、地方局、CATV局、ならびにコンテンツ制作会社などで多数採用され、デジタルデータ放送業界のデファクトスタンダード製品として位置付けられています。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com